

-----

15番 森本泰典議員

-----

議長（中西 康雄君）

通告順4番、森本泰典議員の発言を許可します。

-----

15番（森本 泰典君）

15番 森本でございます。

濁川に架かる濁川橋についてということで、ちょっと通告してありますので、聞かせていただきます。濁川橋の通行止めに対して、濁川橋を架け替えを考えているかということで、ちょっとお聞きいたします。

旧勢和の色太地区と栃原地区との境界に濁川橋が架かっております。昨年大台町の架橋調査にて危険橋とされ、現在自転車や人が通れますが、車両は通行止めになっております。地区懇談会でも話が出ましたが、通行止めの現在、地元住民が不便との声がよく聞きますので、濁川橋を架け替え、または補強する予定があるのかということで、ちょっとお聞きいたします。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

それでは、森本議員の濁川橋の架け替えの考えはあるのかということについて、お答えをいたしま

す。

この濁川橋につきましては、現在自転車及び歩行者は通行できますが車両は通行止めの制限を行なっているところです。これは平成 19 年度に実施をいたしました橋梁調査で、橋台にクラック、あるいは桁部にはコンクリートの剥離と鉄筋の腐食が確認されたことから車両の通行につきまして、その安全性が確保できないと判断をし、通行制限を行っているところでございます。

濁川橋を 3 t から 4 t の荷重に耐え得る状態に補修いたしますと、工事費で約 1,700 万円から 2,200 万円程度、また新規架け替えになりますと約 1 億 2,000 万円程度の経費が必要となってまいります。

この町道は、多気町勢和地域への連絡道となっておりますが、幅員が狭く、一日の通行量も極めて少ない路線でもありますことから、費用対効果も考慮に入れながら、今後の対応について検討を行っているところでございますので、ご理解を賜りたいと存じます。以上、よろしくお願ひしたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君）

森本議員。

-----

15 番（森本 泰典君）

予定があるかないかにかかわらず、場所として昔の地名のことで説明させていただきます。旧 42 号線のおきん茶屋から川添神社までの間に、JR のレンガ造りの高い景色の良い橋脚が見えるところがあります。それと旧道の近くにはレンガでつくった二重橋というのもあります。また地名でもちょっとおかしな地名でありますけども、死人くずしとか、生首さらしといった地名があります。これは昔ちょうどおきん茶屋と川添神社の間の真ん中ごろに、山賊が出たということでそういう地名が付いたと思います。昔からの歴史探索の重要な橋になると思いますので、多気町とも関係はないとは言えないと思いますので、多気町とも協議して、橋がなくならないことを希望して、早期に架け替えるか補強していただきたいと、地元住民の願ひでございますので、もう一度いつごろになるか、例えば補強するのであっても何月ごろとか、何年先とかいう言葉をお聞きいたします。

-----  
議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----  
町長（尾上 武義君）

何月か、何年ぐらいになるのかというようなことですが、まだそこまで検討は進んでおりません。まずはその非常に通行量が少ないというふうなこともあるわけなんですけど、今、お申しつけありましたように、そういう地名とかですね、これまでの歴史的な部分も含んでおって、景勝地にもなり得るそういうところではないかと、こういうようなことでもございますが、熊野古道の伊勢路の関係があったりとかですね、いろんなそこら辺も見てみやなあかんのかなというふうに思いますが、崩れていってそのままいいよということにはならないと思いますんで、順次ですね、その必要度、あるいは緊急性等々考慮に入れながらですね、その整備計画というのは見ていかなあかんのかなというふうに思っております。

ということで、いつするということはちょっと明言できませんけども、その対応についてはですね、しないということにはならないと思いますので、いずれかのときには対応を図からなあかんなということをお思っておりますんで、その程度で答弁まとめておきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

-----  
議長（中西 康雄君）

森本議員。

-----  
15番（森本 泰典君）

何か地元の方の話を聞くと、やっぱりあそこまで行って通行止めや、ああそうやった。バックする

にも回る場所がないということで、例えば回る場所を確保してくれるとか、何かちょっと町で考えてもらわんと、あそこから 300m ぐらいバックしてこんならんような状態だと困るんで、その辺も頼んでおいてくれという話を聞かされますんで。

それと今、町長の話をお聞かせもらおうと、いずれはという考えで修理なと補強なと架け替えなとするというような話の具合ですので、何とか早いことができるように、町長精いっぱい頑張ってください、その辺をちょっともう一度聞かせていただきたい。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

もうそこら辺調査済んでいるところでございますんで、もう1つですね、いつもよく通る道があるんですね。あそこら辺も多気町側から拡幅をしていただきたいというような要望もございます。そういったようなこともあわせてですね、考えていかなあかんということもございまして、この橋についてもですね、そういうようになるようにですね、努力はしていきたいと思っています。以上、よろしくお願いをいたします。

-----

議長（中西 康雄君）

森本議員。

-----

15 番（森本 泰典君）

それでは2番目のストックヤードについてということで、質問いたします。

香肌奥伊勢資源化広域連合に、搬入しているごみが広域連合構成の中では大台町が一番多いと聞きました。この間も地区懇談会でありましたんやけども、負担金が約2億4,000万円、負担金を少なくするには資源ごみを減らさんことには、町の財政にも楽になるようにということで、私の提案としては各字に分別資源のストックヤードを設置を考えているかということをお聞きしたいです。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

それでは、ストックヤードの整備についてお答えいたします。

現在のストックヤードの整備状況につきましては、宮川地域では5箇所、大台町地域では9箇所の計14箇所を整備をいたしております。今年度は、これに加えまして、高奈、下三瀬、本郷と、現在施工中の三瀬谷地区統合保育所の4ヶ所に整備をする計画です。

議員ご指摘のように、資源ごみの回収を進めまして、ごみ処理分担金を少なくするためには、各字にストックヤードを設置することは効果的であると考えております。しかしながら、ストックヤードの整備にあたりましては、字で用地を確保していただくことと、管理をお願いすることなど、字の理解と協力が不可欠です。このため7月から生活環境課が21の字でごみの減量化と浄化槽市町村整備推進事業の説明会を開催をさせていただいた際に、字単位でのストックヤードの整備について検討していただくようお願いをいたしました。町といたしましてはストックヤードの整備については、初期投資はかかりますが、字単位でごみの減量化と資源化に取り組んでいただけることから、今後も区と調整を図りながら各字に1箇所整備する方向で進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いし答弁いたします。

-----

議長（中西 康雄君）

森本議員。

---

15 番（森本 泰典君）

この間の地区懇談会でもそういう話が出ましたんやけども、現在は各字に今着々と町長のほうも今説明ありましたように、予定をされている聞きましたけども、私は各ごみのストックヤード、カゴとこのですか、あれの置いている場所に、各小さいのでもいいので、その分別できるほどの小さな物置みたいなものを建てれば、グッと減るのやないかと、一時はお金、町長も今言われましたけども、お金はかかるかもわからんけども、将来的には随分安うなと思います。

それこそやないけど、資源化広域連合が潰れるくらい出やんようになるのではないかなと思うてますんやけども、その辺、そういう小さいごみステーションの位置に付けるということは不可能か、ちょっとまたお願いします。

---

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

---

町長（尾上 武義君）

現在ですね 14 箇所、今回、今年整備するのが 4 箇所 18 箇所なんですね。ですんで、大方どうでしょう、その集積所の数は 250 箇所ぐらいに上るんやないかなと思います。そこまでいければですね、それは確かにいろんな分別も進みですね、結構ごみの減量化にはつながっていくだろうとは思いますが、当面はですね、この各字単位でひとつ整備をしながらですね、そこら辺の減量化を図っていくという、あるいは資源化を図っていくという、そのことが非常に大事なことであろうと思います。

ですので、思いはもう十分よくわかるわけなんですけど、当面はこの各字に 1 つということ、まず目標に、それでも 51 ほどありますんで、これまだ 18、今度入れても 18 というふうな状況ですから、まずはこれを整備して皆でごみの減量化、資源化に努めていこうというふうな体制に持っていかな

を得ないと、こういうことでして、それができてきましたらですね、次にどの程度いけるのかという  
ようなことも頭に入れていかなあかんのかなというふうに思いますが、これについてはまだもう少し  
先の話になるのやないかなと、こう思いますんで、その点ひとつご理解いただきたいと  
思います。

-----

議長（中西 康雄君）

森本議員。

-----

15番（森本 泰典君）

はい、今、町長言われたようにすぐにはできんかもわからんけども、徐々にやっていくということ  
聞かせていただきましたけども、なぜ資源化広域連合に搬入されるごみが大台町が一番多いかと言  
うと、私多気町とか勢和とか、昔の勢和ですんやけども、ちょこちょこあちこち見に行くと、結構他町  
村というのですか、それはストックヤードみたいにこう分別の小屋というのが、ものすごいようけあ  
るような気がいたします。数的には考えたことないでわかりませんのやけども、同じく大台町が多い  
んなら、やっぱり大台町の数が少ないんのやないかなという私の考えで、こういうふうに思いますん  
やけども。

それと多気町なんかでも、分別でも本当の細かく分別をしておる。ただ今のところ大台町の場合は  
段ボールとか、新聞紙とかちょっとそういうのをちょっと仕分けしておるみたいな感じですけども、  
ポリの入れ物とか、ペットボトルとか、それからペットボトルのキャップとか、アルミとか、ほとん  
どごく細かく仕分けしているのをよく見ますので、大台町もそうすればもっとこんなにお金を払わなく  
て済むんじゃないかなとも思っておりますけども、それぐらい細こうやれば、こんなに負担金がかか  
らずに、一時的にはお金がかかりますけども、できればそうすればどんどん安くあがるんじゃないか、  
それこそやないけど使う金よりも、使わんように方法を考えたほうがいいんじゃないかなと、そうい  
うふうに思うので、またちょっとお伺いします。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

---

町長（尾上 武義君）

確かにそういった部分での分別というのもですね、非常に大事な部分があるかと思います。ただ今の勢和でのRDFの処理方法と言いますか、いわゆる燃えるごみとか燃えないごみとかいう、大雑把なそういう分け方があります。その中でもペットボトルとか、あるいは蓋、アルミとかいろんなその仕分けが出てくるわけなんですけども、そういうような部分しっかりとこう分別をしていくというふうなことも、当然大事であろうというふうに思います。

また、それぞれのご家庭にですね、生ごみ処理機の補助金なんかも出して、生ごみを堆肥化してくださいというような形で、この運動も展開しているところなんですけど、そこら辺の中でですね、やはりごみの重さというものを減らしていくということ、これ非常に大事なことでございますので、しっかりと水切りをすとかですね、そういったようなことも1軒1軒が気をつけていただいたらですね、かなりの減量にもなってくるのかなと思いますので、いろんなその啓発を行いながら対応してまいりたいと、こう思っております。

また、ストックヤードについても、例えば布団なんかですね、ああいった類についてもですね、衣類とかそういったようなものについてもやっていけたらなというふうなこととおっしゃるわけなんですけど、今のところは段ボール、新聞、雑誌等々その程度でございますので、今後をそういった衣類についても対応できていけるようでしたら、考えていきたいなということも思っているところでもございます。これはすでに明和町あたりでも対応して取り組んでいるようなことでもございますので、ここら辺はしっかり考えていかなとこう思っております。

そういうことで、いろんな啓発をしながらですね、対応していきたいと、こう思いますので、よろしくお願ひしたいと申します。

---

議長（中西 康雄君）

森本議員。

-----

15 番（森本 泰典君）

それでは 3 番目の広域農道について、お聞きいたします。中山間地域総合整備事業の中の広域連合型農道が、粟生地区から旧勢和村の車川に計画されていたと聞きました。すでに松阪地区とか明和地区、多気地区でも工事が一部完成して、着工工事中もありますが、大台地区は何か困難な状況とは聞いておりますが、協議会に入っているのであれば実現してほしい。区間はわかりませんが、約 38 億円～39 億円ぐらいの工事費のうち、大台区間の工事が 2 ぐらいで、町の負担が 4 億円ぐらいできそうということをお聞きいただきましたので、これに対して町長ちょっと努力していただきたいなと思いますので、町としてのお考えをよろしくお願いします。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

それでは、広域農道中南勢地区勢和大台ルート of 整備についてのご質問にお答えをいたします。

この取り組みの経過を説明させていただきますが、松阪管内 1 市 3 町、旧でいえばですね 1 市 6 町 2 村と、こういうことであります。松阪市・明和町・多気町・飯南町・飯高町・大台町・嬉野町・勢和村・宮川村を対象としてですね、平成 8 年度に広域営農団地計画が策定をされまして、その基幹農道として広域農道中南勢地区が計画をされました。当初、勢和大台ルートを含めた事業計画により審査を受けましたが、勢和大台ルートについては、この路線には農地がなく農道の効果が得られないこと、また事業費が多額になることであることから、この路線を計画路線から除外するよう国から強い指導がありましたので、この路線を広域農道事業から除外をいたしました。その後、平成 14 年度に国で広域農道の見直しが行われた際、平成 15 年度新規採択希望地区として国に要望いたしましたが、国の見直し基準として、1 つ目には、勢和大台ルート単独での費用対効果が 1.0 以上あることが必要

ということでもございまして、2つ目に、道路構造基準の特例値の採択や従来一般道への機能の振替え等による事業費、事業量の縮減見直しが必要との基準が示されました。

勢和大台ルート単独での費用対効果を算定したところ妥当投資額は44億1,372万4,000円で、計画当初の事業費は72億6,000万円でございます。費用対効果は0.61と低い数値となっております。また、予定路線に交差する形で近畿自動車道が整備されたことなど、計画された平成8年ごろから、周辺環境が変化していること、当初計画では旧勢和村地内の計画路線沿いに広域茶工場の新設を計画してありましたが、平成15年度に南勢茶センターに併設して、茶の処理加工施設が整備され、広域茶工場の整備が棚上げされた状態でありまして、大台町からの流通ルートとしての必要性が減退している状況となっております。

しかし、平成19年度に広域農道促進協議会、これ現在の松阪市・多気町・明和町・大台町で組織しておりますが、この協議会において、国の採択基準に合うようなルートがとれないのか、再度検討が行われまして、概略設計を発注し、計画平面、縦横断及び工事費を算出し、本年度この資料に基づきその可能性について旧勢和村の車川から大台町高奈間の2ルートを検討してまいりました。

第1案は総延長2,090mのうちトンネル部分が375m、橋梁部分が129mで、工事費は37億7,800万円でございます。

第2案では総延長2,271mのうちトンネル部分が375m、橋梁部分が70mで、工事費は29億2,300万円となりました。これは大台町地内のみの事業費でありまして、勢和大台ルートの全体事業費では72億8,900万円以上と膨大な事業費が明らかになりました。また、試算された事業費でこのルートの事業効果、いわゆるB/Cを算定いたしましたところ、0.66と低く採択基準の1.0以上を大きく下回る結果となりました。この事業は国や県にも相当な事業費負担をいただくこととなりますし、仮に整備が可能としても、松阪方面に向かうには国道42号線を利用した方が便利であり、この道路を農業以外に生活道路として利活用が進むとは考えにくく、このように事業効果がほとんど見込めない状況ではこれ以上関係機関に要望させていただくことは困難であり、撤退はやむなしと判断したところでございます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。答弁とさせていただきます。

-----

議長（中西 康雄君）

森本議員。

-----

15 番（森本 泰典君）

今、大台町のほうでは計画中の工事が随分あります。大台町の上水道工事とか、南勢水道の問題もありますので、この大台町の上水道工事をこの道路に併設して本管を入れたら安くなるんじゃないかなという考えもありますので、ちょっと聞かせていただきました。

広域農道工事やるんなら、本管入れれば大分距離が短くなるんじゃないかなという考えで、私はそういう考えがありました。それと大台町の中で今、道路を付けているという話というのは、もう随分昔からないと思います。修理とか舗装のやり替えとか、拡幅というのはありますけども、こんな大台町が新しく道路をつくというのは今現在 42 号線でも川添地区の、J R のトンネル付近なんかはもう川から道路までの間が距離がない。ちょっと山が崩れればもう 42 号線が封鎖されるという考えもありますし、そして地震が起きればそういうことはとくにあります。それと宮川現在大紀町へ向いて回り道があるやないかと言われても、それだけの大きな地震があった場合、橋がどうなるかもわかりません。

ただそういうときに、この広域農道ができればそっちにも迂回ができるんじゃないかという考えと、それと道路ができれば大台町としては住民もその道路沿いに商売も来る。小さな工場も来る。住民も来るということで、住民が増えるという考えにも 1 つにもなると思いますので、ただ私は 4 億円ぐらいでできるのであれば、何とか実現していただければ大台町の町民の夢にもなるんじゃないかと、そういう考えがありましたので、こういう質問させていただきました。

いろいろ下調べさせてもうたときには、もうこれは無理やという話は聞きましたけども、それを何とか新しい道路を付けて、町民に夢を与えていただきたいという考えで質問させていただきました。その辺ちょっと町長もう一回お聞きいたします。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

結果から言いますと、もう国があかんと言うておるのですわ。こちらがもうやってくれと言っても、もう駄目と言われておりますんで、これはもうちょっと無理です。

現在ですね、そうやってB/C弾いたときに、0.66程度というふうなことになりますんで、せめて1.0ぐらいのところであれば、そんな話にもなるのかなと思いますが、なかなかそこら辺が非常に難しいということでもございます。これは県が事業主体になってやりますけども、当然、管理はその町のほうに移管されますんで、当然残りのですね、あとの負担、ランニングコストはこちらでまた見ていかならん、こういうようなことでもございますし、まずその4億円にしましても、当然借入れをしていかならんと、こういうようなことでもございまして、そこら辺の後々のことを考えたときにですね、本当に道路付けていいのかなということについては、大きな懸念があり過ぎるということだと思っております。

おっしゃられますように、水道管入れたら安くつくやないかと、車川から引っ張ってきてですね、あそこへ付けようやないかとか、あるいは災害対応ですね、防災道路の役割も果たすやないかと、いろんな部分は出てこようかと思うんですが、それ以上にですね、やはりまだまだこちらのほうとしては安全な道路でもあり、安全な地域でもあるということが言えるんじゃないかなというふうに思っております。

そこら辺の何と言いますか、効果と言いますか、そういったようなものがやはりどこまで求められるかになりますと、本当にこう懸念が大き過ぎるということをおっしゃっているところであります。また道が付くことによって、人や物が動くやないかと、こういうようなことでもございます。確かにそういう部分もあるわけなんでございますが、当面、その地域内の生活道路の整備というようなことが、もう少しなされていない部分が多過ぎるというようなことでもございますんで、そこら辺に力を注いでいかならないのやないかとおっしゃっておりますので、その点をご理解願いたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君）

森本議員。

-----

15番（森本 泰典君）

事情はよくわかりますけども、ただ町民の夢として、そういう計画もあっていいんじゃないかという考えで質問させていただきました。それとこれちょっと副町長ですんやけども、何か県でそういう方面に詳しいということを知らせていただきましたので、その副町長の就任のときの言葉に、大台町に貢献したいという言葉がありましたので、無理かわかりませんが、そういう書類手続きとか、何かそれをちょっと国に働きかけるとか、何とかこう試行錯誤で考えていただいて、また何とかやっであかんのなら仕方がないですけど、やらんうちからもう町長みたいに今、国が言うておるのやであかんのやと言うたら、もう次の言葉が出ませんので、副町長のほうにもちょっと悪いですけども、何か。

-----

議長（中西 康雄君）

森本議員、町長以外の職員を指名しての質問は認められませんので。

-----

15 番（森本 泰典君）

そうですか、町長その辺もっと詳しい側近が見えますんで、何とか書類だけでも通して、一応国にも言葉をかけていただいて、何とか夢をかなえてもらえればということで、お願いします。

-----

議長（中西 康雄君）

尾上町長。

-----

町長（尾上 武義君）

最初に、私のほうから答弁いたしましたようにですね、平成 14 年までに一旦この計画を下ろしていたというような部分もありますのですね。また 15 年度になってその広域農道が見直しをされた際に、

再度上げたということなんですが、このときでも1.0を下回っておるやないかというようなことで、あきませんよと。

また、19年度でこの協議会で調査をかけていただいたということなんですね。かけてしてもあきませんよと、こういうことなんですよ。ですんでね、これはもう非常に無理なところですよ。そやでやる前からそんなあかんあかんと言うては、ものごとできんやないかということは、私もそういうことは言いたくないんですよ。言いたくないんですけども、もうやっておるんですよ。やってもあかんだということですね。

ですんで、これはもう皆目見込みなしと、こういうようなことでございまして、さきの全員協議会の場でもですね、これについてはもう止めるよということの意向を示させていただきました。そのあとのこの広域農道の促進協議会、その席上でもですね、表明をさせていただきました。もう撤回をするよと、ここまでやっていただいてそれでもあかんだというようなことでもございましたんで、撤退止むなしということでさせていただいたと、こういうようなことでもございまして、いくら副町長が力んでも、これはもうちょっと具合が悪いと、こういうようなことでございまして、えらい期待に添えませんで申し訳ないことでございまして、というようなことでございまして。

そういうことで、そこら辺のですね、もう平成8年ごろからそういった広域農道整備計画が持ち上がってきて、ここまで実際に道路付けよというような話あったんですね。そのころ平成10年ごろやったんですけども、宮川のほうにも話あったんです。宮川のほうにはその広域農道実際にかからないんやけども、協議会のメンバーとして宮川も入っておらんと、協議会の体なさんので名前だけ入ってくれよと、負担金は要らないよとこういうことやったんですね。それで入っておったんです。会議に行くようなことではなかったんですが。

ただこちらとしてはですね、実際にその計画は高奈からあったというふうなことですから、その必要性というのはその当時は考えていたんだろうと思いますが、ずっとですね、それからもう立ち消えになったような経緯もあったんですね。ということで計画はあるものの、話は全然具体的に進捗しなかったというような部分があるんですね。その間に協議会のほうでいろんな調査もかけたりして、国との折衝もあつたりしたんだろうと思いますが、そういう中でやはり効果というものが全然得られない道路じゃないかと、こういうふうなことだったんですね。そういうことで今現在に至ってきたと、こういうことです。

町政懇談会でですね、今年初っぱなに粟生とそれから下楠と上楠の3字の連合でですね、された際にこのような話も出させていただきました。こういう計画があったということについては、皆さんご存じですかと言ったら、誰も手が挙がってこなかった。話が出てこなかったようなことなんです。そ

うということでこの計画に対して、やはり地元ですからね、そんなにやっぱりこう思いがなかったのかなという、そういう印象持ってます。その後、全員協議会のほうにも話もかけ、その必要性というのを私なりにも考えさせていただいて、全員協議会で話を出して、その後、松阪のこの広域農道協議会にも話を出してお断りをしてきました。こういうようなことでございます。

そういうことで、今後早く言えば付けるべきではないと、こういうような考えに至っておると、こういうことでございまして、そういうことで大変さきほどの小野議員やないけども、つれない返事ばかりで申し訳ないんですが、ご理解賜りたいと思います。

-----

議長（中西 康雄君）

森本議員の一般質問が終わりました。